

学校保健

平成15年9月1日

No. 248

(財)日本学校保健会ホームページアドレス
http://www.hokenkai.or.jp/

JAPANESE SOCIETY
OF
SCHOOL HEALTH

(財)日本学校保健会

「かがやけ！ 養護教諭」——新たな役割への挑戦——

全国養護教諭連絡協議会



平成15年度全国養護教諭研究大会が標記をスローガンに7月30日・31日の2日間、全国から1800余名の養護教諭および学校保健関係者の参会のもと長野市で盛大に開催された。

1日目の記念講演は、善光寺の淵之坊住職 若麻績侑孝氏による「共に生きる」と題して今の時代こそ、原点に還り人の命だけでなく動物も植物も万象がすべて関係しあって、そのなかに生かされている自分を発見し、すべての生命が自分の生命と同じように大切であることを話され、「無財の七施」の和顔施（おだやかな面ざし） 愛語施（あたたかい言葉） 慈眼施（やさしいまなざし） 慈念施（人の幸せを祈る心） 床座施（居場所

をゆずり合うところ） 房舎施（ほっとする心を捧げ合う思いやり） 身施（人さまのお役に立ちたいと願うところがけ）の大切さをやさしく説かれ会場は感銘の渦。

シンポジウムでは今回初の試みとしてシンポジストの一員に生徒がむかえられ、「自分にとって養護教諭は必要な人、もっと毅然として」等の率直な思いを、さらに会場から盲学校の生徒が壇上に呼ばれ養護教諭への真摯なメッセージを送ってくれたことはとても新鮮であった。また親の立場からも養護教諭と家庭の密な情報の連携等の必要性や要望が具体的に提示され、今こそ養護教諭はあらゆる面であらゆることを求められていることを実感させられた。まさに標題のとおり「かがやけ！ 養護教諭」である。

2日目は部会別研究協議が5部会で行われた。第1部会はシンポジウム「組織活動と養護教諭の職務の在り方」、第2部会は研究発表・研究協議を「心身の健康に関する現代的課題に対応するための養護教諭の保健学習・保健指導・総合的な学習の時間の進め方」と題して3分科会、第3部会も研究発表・研究協議「養護教諭の職務の特質や保健室の機能を生かした健康相談活動の充実」を題して3分科会、第4部会は研究協議会「自立教育における養護教諭の役割」、第5部会はシンポジウム「養護教諭の職務について考える」とそれぞれの部会で実り多い協議会であった。来年は8月10日・11日の両日札幌市で開催される。

目 次

「かがやけ！ 養護教諭」—新たな役割への挑戦—	1
各ブロック大会等の報告	2-8
各地の活動ちょっと拝見	9
学校における室内空気汚染対策について	10-11
食物アレルギー（アナフィラキシーショック）について	12
出張児童指導参加校募集・教育用ビデオ提供のご案内	13
平成15年度「学校保健用品・図書等」推薦一覧表	14
読者プレゼントコーナー	14
市民公開講座の案内	14
「換気予報」の斡旋販売	15
虎ノ門	15

会報をよくするため、読者のご意見を求めています。FAXでお寄せください。

乞御回覧

校 長	教 頭	保健主事	養護教諭	学校栄養職員	PTA	会 長	副会長	

各ブロック大会等の報告

「学校・家庭・地域が一体となつて子どもを育む新たな健康教育の推進」

第54回十三大都市学校保健協議会
実行委員会事務局



平成15年5月11日(日)標記協議会福岡大会が、福岡市国際会議場で、約1,000名の学校保健関係者を集めて開催された。

同協議会は、生涯を通じて、豊かな心を持ち、たくましく生きる児童生徒を育成するため、政令指定都市13市の学校保健関係者が当面する健康・安全の諸問題を研究協議し、学校保健の進展を図ることを目的に、毎年持ち回りで開催しているもので、今回の協議主題は、「学校・家庭・地域が一体となつて子どもを育む新たな健康教育の推進」であった。

本大会は、午前10時からメインホールにおいて、開会式が厳かに始まり、文部科学省、日本学校保健会からの来賓を迎え執り行われたあと、引き続き全体協議会が行われ、次期開催都市等を決定する議案が提案どおり了承された。

前回の大会でオブザーバーとして参加した、さいたま市の正式参加が実現したことを特に付記する。

その後、記念講演として「日本文化の中の人間関係」を演題として、九州大学大学院人間環境学研究院教授北山 修氏による講演を行い、貴重なお話を聞くことができた。

今回の講演は、昔話や浮世絵など私たちが共有している日本文化を通して、母子関係をはじめとする人間関係を解き明かし、心の健康について考えていくものであった。

その内容について、北山氏の精神科医・大学教授双方の経験に基づいた広く深い考察が光り、またわかりやすく興味のもてる内容であったと参加者から好評であった。

続く記念事業及び閉会式では、数々の大会で何度も日本一になっている九州女子高等学校ダンス部によるダンス、世界大会でも優勝したことのある精華女子高等学校吹奏楽部によるマーチングといったアトラクションが披露され協議会に花を添えた。

午後は「健康教育」「保健管理」「心の健康」「地域保健」の4つの会場に分かれて課題別協議会が開かれた。各分科会では、各都市の代表者からそれぞれ7つの口頭及び紙上提言がなされ、これらを受けて非常に活発な意見交換が行われた。

特に大都市において深刻となっている薬物乱用問題や性に関する問題に関する提言や意見が多く見受けられ、その中で、完全週休5日制となった本年度以降において、学校教育のみでなく家庭・地域が一体となって健康教育に取り組むことの重要性が益々増してきていることが浮き彫りになった。

以上のように、記念講演や課題別協議会等において大きな成果をあげた本協議会は、次期開催都市の札幌市へと引き継がれることになるが、今後益々の発展を祈念するとともに、本協議会を開催するにあたりご協力いただいた皆様方に、この場を借りて御礼申し上げます。

なお、本協議会に合わせて福岡市立草ヶ江小学校で喫煙飲酒薬物乱用防止教育の研究発表会を開催し、神戸大学発達科学部教授 川畑 徹朗氏に講演をしていただいたが、この研究発表会も460名の参加を得て盛会に行うことができた。

また、10月30日(木)には、福岡市立梅林中学校で健康教育の研究発表会が行われる予定である。是非、多くの方に参加していただきたい。

第25回

近畿学校保健連絡協議会

大阪府学校保健会

平成15年7月17日(木)、近畿2府4県3政令指定都市の学校保健関係者約120名が、ホテルアウリーナ大阪に集い、第25回近畿学校保健連絡協議会(日本学校保健

会近畿ブロック連絡協議会)が開催された。

当日は、財団法人日本学校保健会副会長の若林明様と大阪府教育委員会教育監の和佐真宏様にご挨拶をいただいた後、早速、研究協議を開始した。

まず、各府県市の要望事項について、提案理由を含めて各保健会から説明いただいた。今回の要望事項の一部を次に紹介する。

【要望事項】

- ①複雑で多様化する健康課題の解決に向けた取組の強化と、健康教育の一層の推進を図るため、養護教諭の複数配置を推進すること。
- ②学校保健の中心である保健主事が、各学校での役割を十分果たせるための研修会の実施と、意欲を持って活動を進めることができるように地位の向上を図ること。
- ③学校環境衛生の基準、結核に関する健診の改正及び歯科保健の充実等に伴う健康教育の充実を図るため、学校三師に対する報酬の地方交付税措置単価を増額すること。
- ④新たに「水泳プール」の水質における「総トリハロメタン検査」や「教室等の空気」における「ホルムアルデヒド及び揮発性有機化合物」の検査など、学校園における環境衛生検査の実施に対する財政措置を行うこと。
- ⑤保健室登校など児童生徒が抱える心の健康問題の解決に向けた健康相談活動の一層の充実のため、「健康相談活動支援体制整備事業」の継続と一層の拡充を図ること。

続いて、各府県市から研究課題について説明いただいた。主な課題として、次のようなものが提案された。

【研究課題】

- ①学校保健委員会の充実と活性化
- ②心の健康にかかわる相談体制の充実
- ③健康教育の一層の推進

以上の内容を踏まえ、参加者が13グループに分かれ、それぞれのグループ内で約1時間、情報交換や研究協議を行った後、その内容を各グループから発表してもらった。話し合いのテーマについては各グループごとに自由に決めてもらったが、多くのグループが、「養護教諭の複数配置」と「学校保健委員会の活性化」について取り上げており、学校保健の諸課題の中でも、これらは学校現場において特に大きな課題であることがうかがえるものである。

おわりに、本協議会の開催に当たり、ご尽力、ご協力いただいた関係者の皆様に厚くお礼申し上げるとともに、本協議会並びに学校保健活動の一層の発展を祈念するものである。



第3回九州地区 健康教育研究大会

大分県実行委員会



昨年の鹿児島県での開催に続き、今年は8月4・5日、大分文化会館を中心に、九州各県から約1400人の健康教育に携わる関係者の参加の下、「生涯にわたって、心豊かにたくましく生きる力を育む健康教育の推進」を主題として、シンポジウムや12の分科会を実施し、研究協議を行った。

【 第1日(全体会) 】

開会式では、嶋津大会会長の「健康教育推進者が連携し、健康で安全な生活を自ら実践できる児童生徒の育成が重要」という挨拶に続き、(財)日本学校保健会・内藤専務理事が「心身の健康問題が深刻化し、その解決が重要な課題となっており、大会の成果を学校保健活動に活かして欲しい」との矢野会長からのメッセージを代読された。

開会式直後のシンポジウムでは、4名のシンポジストによる提言をもとに、「生きる力の育成」に健康教育を通して、どのような取り組みが有効なのか等を協議の柱とし、研究協議が行われた。

【 シンポジウム 】

～テーマ～「豊かな心を持ち、たくましく生きる力を育む健康教育の推進」

○「豊かな心を持ち、たくましく生きる力を育む健康教育の推進」 福岡県学校薬剤師会 大神信勝 会長

学校薬剤師として、学校環境衛生と薬事衛生の管理業務だけではなく、今日的課題として学校環境の改善や健康教育の充実のため、学校という組織について理解し、連携した健康教育を推進していくべきだと提言された。

○「郷土を愛し、心身ともに健康な生徒の育成」～学校給食を活かした様々な取り組み～ 佐賀県武雄市立武雄中学校 松尾純子 学校栄養職員

自分自身の健康について、学校で得た知識を生活の中で活かすことができ、郷土を愛する児童生徒を育成するためには、小・中学校が連携を深め、健康教育を家庭や地域に広げて実践していくことが必要であると提言された。

○「自他の健康に関心を持ち、健康な生活に向かって実践できる生徒の育成」～生徒の健康感から進める健康教育～ 熊本県蘇陽町立蘇陽中学校 松野孝雄 校長

生涯を通して健康な生活に向かって実践できる生徒を育成するため、町と連携し、健康教育を推進する行政手法であるPPモデルを活用した方法を取り入れた実践発表がなされ、生徒の生活状況を見つめ直し、生徒自身に健康問題に気づかせることの重要性について提言された。

○「豊かな心を持ち、たくましく生きる力を育む健康教育の推進」～健康観察の実践を中心に～ 宮崎県都農町立都農中学校 小山幸枝 養護教諭

一人一人の生徒が自分の健康を自分のものとしてとらえることができ、さらに周囲の者の健康状態にも目を向けさせ、自他の健康を考える場として、健康観察が重要であると提言された。

【 特別講演 】

演題 「 笑いと健康 」

講師 落語家 柳亭市馬 氏

八代目柳亭市馬氏の講演は二部構成で、一部は、「笑いと健康」というテーマで講演をいただき、二部は楽しい落語を聞かせていただきました。

今の地位(真打ち)は、地道な努力の積み重ねと下積みの修行に耐えたからこそ築けたのであり、その支えとなったのは、「健康」であったからという貴重な話を聞くことができた。

また、参加者の笑いが絶えず、「笑う」ということが健

康に良いということを改めて実感できた講演であった。

【 第2日(分科会) 】

午前・午後と合計12の分科会を開き、それぞれの分科会ごとに3名の実践発表と研究協議を行った。

第1分科会

健康に関する総合的な学習の時間の進め方

第2分科会

健康相談活動の進め方

第3分科会

学校経営と特色ある組織活動の進め方

第4分科会

学校環境衛生活動の進め方

第5分科会

疾病予防の進め方(生活習慣病、歯科保健他)

第6分科会

性教育・エイズ教育の進め方

第7分科会

保健学習・保健指導の進め方

第8分科会

心の健康の保持増進をめざす健康教育の進め方

第9分科会

安全教育の進め方

第10分科会

薬物乱用防止教育の進め方

第11分科会

食に関する指導の進め方

第12分科会

栄養管理・衛生管理の進め方

参加者からは、①異職種の発表者の実践発表を聞くことができ大変勉強になった、②もっと多くの一般教諭が参加して研究協議が深められるとよかった等の感想が聞かれた。

本大会の開催に当たり御指導・御協力をいただいた皆様方に心から感謝と御礼を申し上げ、報告といたしたい。

第49回中国地区 学校保健研究協議大会

島根県学校保健会

平成15年8月21日(木)・22日(金)に標記研究協議大会が、島根県松江市で開催された。中国各県から

600余名の参加を得て、「生涯を通じて、心豊かにたくましく生きる力を育む健康教育の推進」の大会主題のもと、初日は、全体会と職域部会を、2日目は班別研究協議会を開催した。

大会初日の全体会では、早稲田大学人間科学部前橋明教授から「21世紀を担う子どもの健康と生活」と題した講演をいただいた。

前橋教授は、近年の子どもたちの生活上の問題点を健康面から研究されている。

講演の要旨は、以下のとおりである。

①日中の戸外遊びが少なく、遅寝遅起きになっていること、②運動不足による肥満傾向に拍車がかかっていること、③徒歩通園をしないため、精神力・持久力が低下していること、④朝食を摂らないため、排便が不安定等といった問題点が生じ、人間関係にまで波及することがあること。

特に、夜型の乱れた生活を繰り返していると、幼児でもストレスを感じるようになり、頭痛、腹痛、下痢、不眠など体の不調を訴え、心身の不調から自律神経の機能低下まで引き起こすこと。さらに睡眠時間の減少は、呼吸、循環、消化吸收、排泄などの機能が乱れるとともに、大きなストレスとなり、常に緊張状態が続くようになること。つまり、生体リズムを支える脳の機能にマイナスの変化が生じ、時差ぼけに似た症状が現れること。

今日の大きな問題は、生体リズムの乱れに伴う、子どもたちの生命力そのものの低下にあること。今こそ、21世紀は子どもたちの生活点検をし、大切なことや改善すべきことを再考する必要があること。そのため、まずはできそうなところから一つずつ取り組んでいくことが大切であること。

また講演では、先生御自身が幼い頃に家族から受けたしつけや子育て法にも触れられ、興味深いお話であった。参加者からは、学齢期の子どもを担当する教職員にとって大変参考になったとの声も聞かれ、極めて好評であった。

職域部会は、学校薬剤師部会、校長・園長部会、学校保健・安全担当教員部会、養護教諭部会の4部会に分かれ、「教室の空気（ホルムアルデヒド及びVOC）の検査実施状況及び水泳プールにおける濁度検査（プール本体と循環ろ過装置の処理水）の実施状況」（シンポジウム）、「子どもの心とからだの異変とその対策」（講演会）、「総合的な学習の時間における保健主事としての役割」（研究発表）、「時代に即した養護教諭のあり方を求めて」（シンポジウム）をテーマに、活発な論議が交わされた。

大会2日目は、7班に分かれて班別研究協議会を開催した。今回は、研究協議会を6題設け、各班ごとに2～3題の研究発表を行い、その後研究協議を行った。

1, 2班研究協議会

「生涯にわたりたくましく生きる力を育む保健・安全教育」

3班研究協議会

「豊かな人間性を育む性教育・エイズ教育」

4班研究協議会

「快適な学習環境づくりをめざす学校環境衛生活動」

5班研究協議会

「歯と口の健康づくりをめざす学校歯科保健活動」

6班研究協議会

「豊かな人間性や社会性を育み、心の健康づくりをめざす教育活動」

7班研究協議会

「子どもの健康を守り育てる薬物乱用防止教育」

発表者からは多くの提言を、指導助言者からはこれからの健康教育推進のために適切な示唆をいただき、実り多い大会となった。

本大会の開催に当たり御支援御協力をいただいた関係の皆様にご心から感謝申し上げます、報告とします。



第46回全国学校保健主事研究協議会、奈良大会

「自ら守り育てる心とからだ」

全国学校保健主事会

奈良県橿原市 かしはら万葉ホールに、全国各地の保健主事会の代表や役員の先生方や学校保健関係者が集まり、8月21・22日の2日間、研究協議会と理事・評議委員会議が開催された。400名を超す参加者は、開会行事で来賓の方々の挨拶や祝辞をいただいた後、三人の功労者表彰をした。

開会行事のあと文部科学省のスポーツ・青少年局体育官 戸田芳雄先生による「学校保健の現状と保健

主事」と題した基調講話で基本を学習した。

続いて、日本人の心のふるさと、文化的・歴史的遺産の宝庫、奈良・橿原の地でこの地ならではの記念講演 泉 森 皎 先生 (橿原考古学研究所附属博物館前館長) は、「古代人の生活と健康」について、最近の発掘調査の成果からわかりやすくお話された。藤原京の遺跡から出土した木簡を解説したら、カルテであることがわかった。薬草畑で漢方薬の植物が栽培されていて大黃・薯蓣・麦門冬・麻黄・龍骨・麻子などの薬が木簡に書かれている。薬用種子も多数出土している。大陸や朝鮮半島から薬師の渡来している事でも、当時の人々の健康観、病の元、病気を治す方法も、環境の変化、薬用植物などが病気を和らげ癒すものである事を知っていたと思われる。人形の目の部分に故意に墨が塗られていることから、眼病の治癒に用いたものと思われる人形型の木簡も出土した。など興味のある講演であった。いつの世も健康を願う人々の心は同じだと感じた。

アトラクション大和の伝統文化の紹介、雅遊会 (奈良葛城楽所) による雅楽と舞いは、目と耳を奪い、いっきに太古の奈良時代にいざなおうとする力が働いたすばらしい芸能でした。

二日目の22日は、課題別研究発表、課題別研究協議で三つの分科会に別れての話し合いでした。パソコンでのプレゼンテーションで機械の相性と不慣れなものと緊張が重なってうまくいかなかったのが残念でした。研究発表の先生方ご苦労様でした。

どの分科会も、発表者に質問が出たり、自分の学校での仕事や悩みを発言して共通理解したりアドバイスしたり、和やかな中に真剣な話し合いがなされた。心の健康の保持増進を目指す、第2の分科会が阪神淡路の震災事故後の心のケアをとりあげたので、参加者の人気が高かった。指導助言者の先生にまめのお話をいただいて、予定時間をオーバーして全ての日程を終えた。

異常気象? 冷夏? と言われ、雨や涼しい日が多かった。待ってましたとばかりに、暑い夏がやってきました。外気は35℃を越す暑さだが、奈良県が用意してくれた かしはら万葉ホールは、冷房が効いて快適に話し合いが進める事ができた。大成功に終わった奈良大会は、地元の保健主事会のみなさんたちが準備から当日の運営まで、すばらしいチームワークと協力でやってきたおかげと言える。また、実行委員会、学校保健関係者の方々のご理解と、ご協力に深く感謝している。

「来年は愛媛で合いましょう。」と、愛媛大会の日程を紹介してペンを置く。

愛媛大会 平成16年8月19日(木)～20日(金)

松山市道後町 愛媛県民文化会館



「生涯にわたり、心身ともに健康でたくましく生きる児童生徒の育成」

第15回四国学校保健研究大会

第37回四国養護教諭研究大会

第11回四国保健主事研究大会

香川県学校保健会



小学校部会の様子

平成15年8月27日(水)、28日(木)に香川県民ホールにおいて、四国各県を中心に約700名を超える参加者を集めて開催された。

本研究大会は、四国養護教諭研究大会及び四国保健主事研究大会を兼ねて、隔年ごとに四国四県を持ち回り開催されており、本大会では、健康の現代的課題の解決のため、大会テーマを「生涯にわたり、心身ともに健康でたくましく生きる児童生徒の育成」として、講演やシンポジウム、実践発表などを中心に開催された。

大会1日目は、日本学校保健会等からの来賓を迎

えての開会式の後、東京成徳大学國分康孝教授による「今、健康教育に求められるカウンセリング」と題した記念講演を行った。記念講演では、カウンセリング心理学の立場から、学校における健康教育にどう生かせるかという視点で示唆のある話を聞くことができた。特に、養護教諭による健康相談活動の重要性が求められているだけに真剣な質問も出された。

また、各県代表者によるシンポジウムでは、「健康の現代的課題に適切に対応する学校・家庭・地域社会・関係機関の取組と連携のあり方」をテーマに提言がなされた。コーディネーターの香川医科大学助手の荻田氏からは、健康問題に携わる社会資源の取組・連携と、児童・生徒の参画の関連という視点で子どもの参画能力の発達モデルをもとに意見が述べられた。

さらに、高知県歯科医師会副会長の金子氏からは、学校歯科医としての学校歯科健診でのかかわりについて提言があった。特に学校歯科健診においてCO（要観察歯）の概念が導入され、ヘルスプロモーションの考えに立った一次予防に取組むため、学校と学校歯科医との連携の在り方について述べられた。

二日目には、会場を分かれ、小学校部会、中学校部会、高等学校・盲・聾・養護学校部会が行われ、各県からの実践発表を基に、討議会が行われた。愛媛県松山市立福音小学校の木谷村養護教諭からは、心の健康づくりを支援する養護教諭のあり方について実践発表が行われた。不登校傾向児童や保健室登校児童に対して、「心のお勉強」の取組を通して、教室復帰に向けた支援活動によって、成果をあげた実践報告がなされた。中学校部会では、徳島県阿南市立加茂谷中学校の橘養護教諭から、性・エイズ教育の効果的な指導の取り組みについての発表があった。阿南市内の中学生へのアンケート調査結果をもとに、効果的な資料や教材の開発に取り組んだり、保健所の講師による出前講座を通して人工妊娠中絶の問題から、命の大切さを指導するなどの実践報告があった。

高等学校・盲・聾・養護学校部会では、香川県立香川中央高等学校の福本養護教諭から、保健所等の関係機関と連携した「健康ステーション」を文化祭においてを開催し、その中で、学校で取り組んだ健康教育の発表や骨密度・血圧測定、食に関する啓発活動などを通して、生徒だけでなく家庭や地域住民の健康づくりに発展する実践について発表がなされた。

自ら、心と体の健康に取り組める子どもの育成

第54回関東甲信越静学校保健大会

千葉県学校保健会事務局



8月28日(木)、関東甲信越静の学校保健関係者約1500名が一堂に会して、第54回関東甲信越静学校保健大会が、千葉市幕張メッセ国際会議場において開催されました。

午前中は、開会行事の後、特別講演が行われました。特別講演は、千葉商科大学学長であり、日本経済政策学会会長をはじめ政府税制調査会会長等を務められた加藤寛先生から「これからの日本人の生き方」という演題で行われました。

特 別 講 演 要 旨

「これからの日本人の生き方」

現在の若者の状況は、人間として何をすべきか、自分は将来どうやって歩んだらよいか、を含めて希望を持っている若者が少ないように思える。

1 日本の景気の動向

構造改革は国民が皆、豊かになることをめざしているものであり、不景気にある日本も経済の回復期に入ってきた。これまでの歴史の中では、経済の景気は、5年ごとのサイクルで良い悪いを繰り返してきていること、民間企業がリストラを行い業績を上げつつあることから回復期に入ってきているといえる。

子どもたちには、日本の未来に希望を持たせたい。こどもたちに「夢」をもたせ、努力すればこんなことができることを知らせていくことが重要である。

2 21世紀の見えない戦争

石油の確保とエネルギー資源の確保問題、食料と水の安定供給の問題、情報（光ファイバーの普及）管理問題の三つの戦争に対処できる子どもの育成が重要である。

司馬法「武器を持って武器を制することができなければ是なり、されど武器を好む者は必ず滅びる」の言葉のとおり対処する必要がある。

日本の現在の状況は、どんなに国民が豊かになる状況があっても、それを押さえつけてしまう傾向がある

3 自立心

一身が独立しなければ一国の独立はありえない。子どもたち一人一人が自分を自立させることによって初めて日本の国は立ち直ることができるのであるから、一人一人の子どもに「自立する心」を育てる必要がある。

「信用をつくる」ことが商業であり、商業道德の精神を生かした「人を愛することのできる道德の心」を育てていくことが重要である。

4 Wellnessの理念

- ・個人の体力アップを図り自分を磨く
- ・精神面を鍛え、忍耐力をつける
- ・社会性を身につけ、規範の中から充実した人間関係をつくる
- ・創造力を引き出し、豊かな感情表現がさり気なく表出できる
- ・的確な判断力とすばやい決断力を実行できる

これらのことを通して、子どもたちが、自らが努力することによって、自分が人間として立派になっていくんだということを自覚することができるようにしたい。

午後は、4班編成による研究協議会が行われ、下記の課題について、実践に基づいた研究協議が熱心に行われました。

1班（学校経営と学校保健）

「教育目標具現化をめざす学校保健」

- 児童生徒が自ら心と体の健康づくりに取り組むための学校保健安全計画のあり方
- 学校と家庭・地域社会の連携を円滑に推進する学校保健委員会のあり方

2班（健康教育）

「生きる力をはぐくむ保健教育あり方」

- 自ら学び、考え、判断し、よりよく問題を解決する力と豊かな人間性をはぐくむ保健学習のあり方
- 自ら進んで心と体の健康づくりに取り組む力を育てる保健指導の進め方

3班（学校歯科保健）

「歯・口の健康づくりをめざす学校歯科保健活動」

- 生涯にわたる歯・口の健康づくりに対する自己管理能力の育成をめざした学校歯科保健活動の進め方
- 歯・口の健康づくりの生活化を目指した学校・家庭・歯科医療関係機関の連携のあり方

4班（安全教育と環境衛生）

「生きる力を育てる安全教育と快適で安全な学校環境衛生」

- 学校・家庭・地域の連携を図った生きる力をはぐくむ安全教育のあり方
- 学校環境衛生検査の充実と基準確保のための事後措置のあり方



「足と地球の健康を考えよう」

シューズのリサイクル

足に合わない小さなクツや、先の細いクツを履いていると、足の指が曲がったり、爪が変形して痛んだりします。底の薄いクツを履いて硬いところで運動すると、カカトやヒザが痛くなったり、足の骨が折れたりすることもあります。通気性の悪いクツを履いていると、足が蒸れて、疲労が増したり皮膚炎になったりします。元気に運動して健康になるには、シューズはとても大切です。

履けなくなったたくさんのクツがゴミとして捨て

られ、地球が病気になるっています。元気な地球に戻すためには、ゴミを減らすこと、もう一度使える物をリサイクルすることが大切です。

足の健康を守ってくれた「JESシューズ」をリサイクルして、地球の健康も守りましょう。

日本教育シューズ協議会

岡山市 西川原 1 丁目 11 番 6-1 号

〒703-8258 TEL. (086) 272-5463



各地の活動ちょっと拝見⑧

換気の習慣化をめざして

ホルムアルデヒドやVOCなどの揮発性化学物質等による刺激臭、目の痛みなどの症状に対する対策、また、風邪やインフルエンザの予防には、なんといっても換気することが一番の方法といえます。

本会が斡旋販売している「換気予報」を活用し、換気の習慣化をめざしている京都府船井郡日吉町立胡麻郷小学校の実践活動をご紹介します。

Q：なぜ「換気予報」を導入されたのですか？

A：学校でのシックハウス予防のため、換気の習慣づけを子供たちにもたせようと思っていました。目に見えない空気の汚れを子供たちにもわかりやすく表示するので、換気の動機付けになるのではと考えました。

Q：どのように「換気予報」を活用されていますか？

A：子供たちの教室すべてに「換気予報」を置いています。「換気予報」が表示する空気の状態と温湿度、換気の状況を子供たち自身が記録しています。具体的には、朝の始業前(8時)と中間休憩(10時20分)、昼(13時)、放課後(15時)の4回、「換気予報」のバーグラフの数や温湿度を記録用紙に記入しています。

「換気予報」は高感度設定にして使っています。

かんきと空気よごれの記録 胡麻郷小学校									
		5/15 (A)	6/15 (B)	5/15 (B)	5/15 (B)				
朝	温度℃	12.0℃	8.8℃	11.9℃	14.3℃				
	湿度%	70%	59%	54%	54%				
	レベル	2	1	2	1				
中間	温度℃	13.7℃	11.7℃	14.7℃	17.1℃				
	湿度%	71%	55%	60%	61%				
	レベル	2	3	3	3				
昼	温度℃	15.9℃	17.4℃	21.9℃	22.8℃				
	湿度%	66%	49%	42%	53%				
	レベル	3	4	3	2				
放課	温度℃	18.6℃			24.2℃				
	湿度%	59%			50%				
	レベル	2			5				

かんきと空気よごれの記録用紙



胡麻郷小学校



教室の風景



「換気予報」と記録用紙

Q：子供たちの換気に対する意識は変わりましたか？

A：変わりました。換気の必要性に対する認識が高まり、自主性もみられます。

友達が「換気予報」を見て、窓をあけろ！とかいったり、中間休みのときにみんなが窓を開けたりするようになってきました。

6年女子

空気の汚れを調べ始めてから、窓がよく開いている。自分で開けたり、みんなもよく開けていると思う。

4年男子

毎日調べていると、換気をしないとレベルがどんどん上がってしまうのでびっくりしました。教室はそれだけ汚れているんだと思いました。

6年女子

温度や空気の汚れがわかって、教室が汚れていることに気がつきました。ちょっと努力して空気をきれいにしたいです。

4年女子

学校における室内空気汚染対策について

文部科学省学校健康教育課健康教育調査官 鬼頭 英明



学校における教室等の室内環境は安全で快適なものとする必要があることから、従来より、化学物質による室内空気汚染対策については、「室内空气中化学物質の室内濃度指針値及び総揮発性有機化合物の室内濃度暫定目標値等につ

いて（依頼）」（平成13年1月29日付け12国ス学健第1号）、「学校環境衛生基準の一部改訂について（通知）」（平成14年2月5日付け13文科ス第411号）等により適切な対応をお願いしてきているところです。また、シックハウス対策のための規制導入として、「建築基準法の一部を改正する法律」（平成14年法律第85号）が平成14年7月に成立・公布され、平成15年7月1日から施行されました。

これは、シックハウス症候群が「①住宅に使用されている建材や家具、日用品などからの様々な化学物質の発散。②住宅の気密性が高くなったこと。③ライフスタイルが変化し、換気が不足しがちとなりやすい」ことを主な原因としておこることから、これを防ぐための対策として新たに設けられた規制であり、「①建材や家具、日用品などから発散する化学物質を減らす。②換気設備を付けて室内の空気をきれいにする。」ことがポイントとなっています。なお、改正建築基準法は、学校においても新築や改築等の際に、以下の規制がかかることとなります。

1 ホルムアルデヒドに関する建材・換気設備の規制

ホルムアルデヒドについては、平成12年度の住宅における全国実態調査で3割近く室内濃度が厚生労働省の指針値を超過したことなど、化学物質による室内空気汚染の状況から新たな規制対象物質とされました。具体的な規制内容は以下の通りです。

①内装仕上げの制限

木質建材（合板、木質フローリング、パーティクルボード、MDFなど）、壁紙、ホルムアルデヒドを含む断熱材、接着剤、塗料、仕上げ塗材などについてJIS、JASなどの表示記号（ホルムアルデヒドの発散量による等級でF☆☆☆☆が最も少なくF☆☆☆、F☆☆の順に発散量は高くなる）によ

る使用制限がかかります。

（ホルムアルデヒド放散量が多い旧E2、Fc2又は表示なしは使用禁止となる。）

建築材料の区分	ホルムアルデヒドの発散	JIS、JASなどの表示記号	内装仕上げの制限
建築基準法の規制対象外	少ない 放散速度 5 μ g/mh以下	F☆☆☆☆	制限なしに使える
第3種ホルムアルデヒド発散建築材料	5 μ g/mh ～20 μ g/mh	F☆☆☆	使用面積が制限される
第2種ホルムアルデヒド発散建築材料	20 μ g/mh ～120 μ g/mh	F☆☆	
第1種ホルムアルデヒド発散建築材料	～120 μ g/mh超 多い	旧E2、Fc2 又は表示なし	使用禁止

②換気設備の義務付け

ホルムアルデヒドを発散する建材を使用しない場合でも、家具からの発散があるため、原則として全ての建築物に機械換気設備の設置が義務付けとなります。

③天井裏などの制限

2 クロルピリホスの使用禁止

クロルピリホスは、有機リン系の防蟻剤で木造住宅の床下などに使用されていました。これは、換気等で濃度抑制することは困難であること及び厚生労働省の指針値が極めて微少に設定されていることから使用禁止となります。

以上を踏まえ、文部科学省は、改正建築基準法の施行をうけ、7月4日付けで通知を発出しました。主な内容は以下の通りです。

1 「学校環境衛生の基準」における留意事項

(1) 化学物質の室内濃度検査（以下「検査」という。）を行う際は、例えば、学校薬剤師を含む教育委員会関係者が立ち会ったり、信頼できる検査機関の選定に配慮するなど検査の適正確保に努めること。

(2) 検査の状況については、保護者に適宜情報を提

供すること。

- (3) 検査における採取の際の換気条件については、窓等を閉めて授業を行っている場合には窓等を閉めて行うなど通常の授業時の状態で行うこととしていたが、室内空気中における化学物質対策を推進していくためには、外気の影響を受けることなく測定することが必要であることから、今後、採取の際の換気条件については、窓等を閉めた状態で行うこと（この場合、児童生徒は在室させないこととする）。
- (4) 測定方法については、測定技術の進展に伴い、「学校環境衛生の基準」に示している標準的方法と相関が高く、且つ、信頼性が確保できる簡便な測定方法が開発された際には文部科学省から情報提供を行うこととしていたが、この度、以下のホルムアルデヒドについての測定器を用いた測定方法は、文部科学省の検査の結果や、建築物における衛生的環境の確保に関する法律施行規則（昭和46年厚生省令第2号）に基づく告示（厚生労働省告示第204号）を踏まえ、今後、学校薬剤師の指導助言の下、スクリーニング法として使用することについては差し支えないと判断したところである。なお、この測定方法で基準値の2分の1を超えるところについては、「学校環境衛生の基準」に示した方法によって検査すること。

○スクリーニング法として使用しても差し支えない測定器

- ・FP-30（理研計器株式会社）
- ・710（光明理化学工業株式会社）
- ・XP-308B（新コスモス電機株式会社）
- ・91P及び91PL（株式会社ガステック）
- ・TFBA-A（株式会社住化分析センター）

- (5) 既存建物の室内空気中における化学物質対策を推進していくため、定期環境衛生検査の速やかな実施に努めること。

2 学校施設に関する留意事項

(1) 建材等の選定について

学校施設の整備に際しては、今回の建築基準法の改正により、内装仕上げに使用するホルムアルデヒドを発散する建材の使用面積が制限されたこと、クロロピリホスを添加した建材の使用が禁止されたことについて留意すること。

また、使用する建材等については、日本工業規格（JIS）、日本農林規格（JAS）、MSDS（化学物質等安全データシート）等を確認し、室内空気を汚染する化学物質が発生しない、又は少ない建材の採用について配慮すること。

さらに、接着剤や塗料の選定に当たっては、トルエン、キシレンなど芳香族炭化水素系の溶剤を使用したものを室内に用いることはできる限り避けること。

(2) 機械換気設備の設置について

学校施設の整備に際しては、今回の建築基準法の改正により、教室等への機械換気設備の設置が原則として義務付けられたことについて留意すること。

また、その際には、校舎等全体の換気計画を検討するとともに、普通教室、特別教室等の教室の種類に応じた換気方式を選定すること。

さらに、機械換気設備については、日常的に運転させるとともに、定期的な清掃及び点検の実施について配慮すること。

(3) 適切な工期の設定について

工事の発注の際には、十分な養生及び乾燥のための期間が確保されるよう、適切な工期の設定に配慮すること。

(4) 適切な施工監理の実施について

設計図書で指定した建材や施工方法等の現場における確認など、適切な施工監理の実施に配慮すること。

(5) しゅん功建物の適切な引き渡しについて

「学校環境衛生の基準」に基づく検査によりホルムアルデヒド等の濃度が基準値以下であることを確認させた上で引き渡しを受けること。

また、基準値を超過した場合は、原因の把握に努めるとともに、換気の励行や汚染源の除去等の適切な対策を講じること。

(6) 学校用家具の適切な導入について

家具の選定時には、ホルムアルデヒドの放散量等の確認に努めるなど、室内空気を汚染する化学物質が発生しない、又は少ない材料の採用について配慮すること。

また、家具の搬入等によりホルムアルデヒド等の発生のおそれがある場合には、「学校環境衛生の基準」に基づく検査を実施すること。

以上を周知の上、今後も学校環境衛生の適切な維持管理に努めていただくようお願いします。

食物アレルギー(アナフィラキシーショック)について

国立療養所南福岡病院小児科医長

柴田 瑠美子



< はじめに >

乳幼児アトピー性皮膚炎や食物アレルギーの患者さんの受診数は10数年前から増加してきました。急激に重篤な症状が発生する「アナフィラキシーショック」等、時には生命にも関わることもある食物アレルギーですが、その原因食品は様々であり子供達と成人でも異なります。当院及び最近の全国調査では、小児の三大アレルギーは卵、牛乳、小麦であるのに対して、成人ではソバや魚介類、ピーナッツ、フルーツが多いという結果が得られました。

中でも卵、牛乳、小麦、ソバ、ピーナッツは微量でも症状が誘発されやすく、過敏性の強い患者さんにとっては非常に危険です。したがって現在、これらを原材料として加工食品に使用する場合には表示に記載するよう、省令で義務付けられています。アレルギー児に安全な食品を提供することは企業にとっても大きな課題であり、最近は低アレルギー食品の開発も盛んに進められるようになってきました。低アレルギー食品は、アレルギー児の食生活のQOL向上に貢献し得るもの。私達は経口負荷試験や血液による抗体検査、また皮膚テストによる反応性チェック等で安全性を進めると共に、過敏性の強いアナフィラキシー児の年齢的な予後も追跡し、低アレルギー食品接種によって自然治癒を促進できないか検討しています。

< 症状と対策 >

食物アレルギーによるアレルギー反応には、数分から2時間が出る「即時型」と3時間以降に症状が現れる「遅発・遅延型」があるのですが、最初に述べた「乳幼児アトピー性皮膚炎」では、しばしば食物アレルギーが合併し、即時型反応として皮膚のかゆみやじんましん、遅延型反応として皮疹の悪化が見られることがあります。皮膚炎への関与がどの程度あるかは専門家の意見も分かれるところですが、血液検査を行うと卵や牛乳、大豆等、多種類の食物アレルギーに対するIgE抗体(アレルギーに対応する免疫抗体)が陽性を示しやすい傾向にありますし、

食物を用いた皮膚パッチテストでも陽性を示しやすく、30~60%に即時型症状として掻破による湿疹悪化が見られます。このようなアトピー性皮膚炎児を含め、食物アレルギーの関与が明らかになった場合、当院では関連食品の除去食療法を進めていますが、アレルギーとなる食品は基本的に良質なタンパク質であり、成長期の乳幼児に行う場合は注意が必要です。お母さん方にはきちんと医療機関で指導を受けていただきたいと思います。また、「食物依存性運動誘発アナフィラキシー」もみられます。食物摂取後の運動により呼吸困難や血圧低下などを起こすものですが教育の現場では特に注意が必要です。

< 社会認識の重要性 >

今や社会問題とも言える食物アレルギーですが、アナフィラキシーショックへの認識はまだ十分とは言えないようです。事実、米国における死亡例は成人を含め年間100例以上であり、中でもピーナッツによるものが8割を占めています。アナフィラキシーショックは蜂刺されと同様、医療機関以外で起こりやすい上に、年齢的な改善がなかなか見られず、反復することも少なくありません。その生死を分けるのは、「昇血圧エピネフィリン」をいかに早く注射できるかです。欧米では、アナフィラキシー発症時にエピネフィリン注射を行えるよう、医療機関から自己注射器(エピペン)を処方できる体制が整っており、家族や周囲が治療援助できるまでに制度が進んでいます。日本でも早急にそのような体制を作っていくべきでしょう。

< まとめ >

私は多くの食物アレルギー児や子育てに悩まれているお母さん方に出会って医療機関によるサポートの必要性を実感し、医療や研究に携わってきました。加工食品でのアレルギー食品表示が正しくなされること、そしてレストランや学校給食等でのアレルギー児への配慮が、自然かつ十分になされること。これらはアレルギー児やそのご家族にとって今何よりも必要としていることです。学校関係者をはじめ周囲に理解が広がることを願っています。

(監修 財団法人日本学校保健会事務理事 内藤昭三)

小学校の校長・養護教諭・保健体育指導関係者 の皆様へ

出張児童指導「楽しく学ぼう！むし歯予防講座」参加校募集 教育用ビデオ「新しいむし歯予防習慣」無償提供のご案内

主催：(財)日本学校保健会「学校保健21研究会」 協力：(株)ロッテ



子供たちの健全な発育には健康な歯を維持することが不可欠です。海外では実に様々な取り組みが行われ「むし歯は予防するもの」という考えが定着し始めており、わが国でも教育現場での正しい指導が求められて来ています。

本講座では専門の講師が学校に出向き、最新のむし歯予防に関する情報や話題を分かりやすい形で児童へ解説してまいります。また、教育用ビデオ「新しいむし歯予防習慣」及びキシリトールガム（ガムはビデオ提供校に限る）をご希望の学校に無償提供いたします。講座受講またはビデオのご希望は下記の記入欄にご記入いただき、下記番号までファクス返信または郵送にてお申ください。尚、お申込は2003年10月17日（金）までお願い致します。

■出張講座

【募集対象】全国の小学校（高学年対象） ※応募校が多数の場合、抽選となります。

【応募条件】参加人数に応じた体育館、教室などの会場をご用意していただきます。（屋外不可）

【開催時期】平成15年11月を予定しております。

【専門講師】(財)日本学校保健会「学校保健21研究会」
会員（日本歯科大学福田雅臣助教授を予定）

【講座内容】※予定

第1部：児童向け講座 約60分

（養護教諭、教職員、保護者の参加も可）

むし歯のメカニズム、予防方法、最近話題のキシリトールの効果など、専門の講師がデータを使ってわかりやすく説明します。

第2部：教職員向け講座 約30分

（児童不可、養護教諭、むし歯予防教育に興味のある学校関係者）

ご希望の学校のみ。教育担当者を対象に詳しい歯科の話や児童へのむし歯予防教育の指導法を解説します。

■教育用ビデオ「新しいむし歯予防習慣」（約10分） &キシリトールガム

日本歯科大学福田雅臣助教授が解説する教育用ビデオ「新しいむし歯予防習慣」及びキシリトールガムを学校に無償提供いたします。ビデオは、児童にわかりやすい内容となっておりますので、授業で指導する際などにご活用ください。尚、応募多数の場合は抽選で500校までとさせていただきます。



<講座開催及び教育用ビデオ&キシリトールガム申込み欄>

下の枠内にご記入の上、ファクスまたは郵送でご返信ください。＊現段階でわかる範囲で結構です。

【出張講座】

講座テーマ	楽しく学ぼう！むし歯予防講座			
希望講座	第1部のみ希望		第1部と第2部希望	
開催希望日時	第1希望： 月 日 ()	AM/PM	:	～ : 第2希望： 月 日 () AM/PM : ～ :
参加予定人数	児童 約 名	／教職員 約 名	／父兄 約 名	／合計 名
お申込者氏名	(職名：)			
学校名				
学校所在地	都・道・府・県			
	Tel：		Fax：	
開催場所				
学校歯科医氏名				
その他ご希望・ご質問				

【教育用ビデオ&キシリトールガム】

教育用ビデオ	希望します	希望しません
キシリトールガム	希望します	希望しません

ファクス返送先：03 - 3486 - 7502

（学校歯科事務局）担当者：菊地・佐々木・菅井 電話：03-3486-6868

〒150-8343 住所：東京都渋谷区渋谷2-12-19 東建インターナショナルビル10F (株)プラップジャパン内

平成15年度「学校保健用品・図書等」推薦一覧表（追加分）

推薦期間 平成16年3月31日まで

N o	品 目	摘 要	会 社 名
35	クレストスピンブラシ	手軽にしっかり歯垢除去できる電池式電動歯ブラシ	マックスファクター株式会社(P&Gグループ)
36	ミルクココア	体にうれしいポリフェノール・食物繊維・テオブロミンが含まれた、カカオの風味が活きている健康志向の粉末ココア	明治製菓株式会社
37	『ただいまのあとは…』(ビデオ)	カバのキャラクターと歌で、うがいと手洗いの習慣を身につけるための教材	明治製菓株式会社
38	保存版 ひふのトラブルこんなとき(冊子)	創傷、やけど、ニキビ等のひふのトラブルの処置と、ぬり薬・消毒薬の使い方に関する保健指導の副教材	有限会社 健康と料理社
39	おいしく食べてエネルギーダウン(冊子)	肥満や糖尿病の仕組みや予防するための食生活をわかりやすく説明した、料理レシピ入りの教材冊子	有限会社 健康と料理社
40	リカルデント・ガム及びリカルデント・タブレット	むし歯予防に効果のある「キシリトール」と歯の健康に必要なミネラルを補強するリカルデントを配合したシュガーレス・ Chewインガム	キャドバリー・ジャパン株式会社

読者プレゼントコーナー

名探偵コナンの「熱中症の謎を解け!」を50名様にプレゼント

大塚製薬(株)では、小・中学校での熱中症予防のための教材ビデオ(日本学校保健会推薦、約10分)を50名様にプレゼントします。

ご希望の方は、必要事項をご記入のうえ下記までFAXでお申込みください。

締め切りは10月31日(金)までとし、応募者多数の場合は抽選とします。当選者の発表は、商品の発送をもって代えさせていただきます。

【必要事項】①学校名②住所③電話番号④ご担当者氏名【申込み先】健康と料理社「コナンビデオ プレゼント係」 FAX:03-5275-0200



プレゼントコーナー応募集計結果について

会報「学校保健」247号でご案内しましたP&Gからの読者プレゼントにつきまして、以下のとおり応募結果を報告いたします。

○ クレストスピンブラシ

876校から応募があり、厳正なる抽選の結果39校、計2,053本を7月11日に発送しました。

○ P&Gウィスパーナプキン

885校から応募があり、15校、計1,500パッドについて、現在発送準備中です。

多くの学校からご応募いただき、ありがとうございました。

市民公開講座

参加無料
先着600名

『食物アレルギー、薬物アレルギー及び蜂刺されによるアナフィラキシーへの対応』

～今、子どもたちに増えている、食物アレルギーなどによるアナフィラキシーショックについて、専門医と共に学ぶ会～

日時：2003年9月28日(日)午後1時～4時

会場：東商ホール(東京都千代田区丸の内3-3-2 TEL.03-3283-7500
千代田線二重橋駅前、三田線日比谷駅B7出口前)

公演内容

- 第一部：アナフィラキシーの現状と治療
第二部：アナフィラキシーショックの対応
第三部：パネルディスカッション

受講中は会場内施設にて2歳から10歳までのお子様をお預かりします。(要事前予約)

主催：(財)日本アレルギー協会 お問合せ／お申込：市民公開講座運営事務局(株)メドコム内
TEL：0120-688-560(月～金10:00～17:00) FAX：0120-278-557 E-mail：allergy@medcom.co.jp

インピーダンス測定値を入力します

Dr. プランプ 児童・生徒用体脂肪率算定ソフト

ID No. 0000017 氏名 島津花子

年齢 14歳 性別 男 ○ 女

身長 158.5cm 体重 52.8kg

測定値 552 Ω

算定結果 体脂肪率 23.6%

標準的な体脂肪率です

肥満度 3.9% BMI値 21.0

ローレル指数 132.6

印刷

(財)日本学校保健会推薦 小児肥満対策、保健指導に

Dr. プランプ 児童・生徒用体脂肪率算定ソフト Ver.1.0

Dr. プランプは成長とともに変化する児童・生徒(9～17歳)の体脂肪率を算定・評価する小児専用ソフトです。(インピーダンス測定器セット販売あり)

監修：日本大学医学部小児科学教室 お問合せ・カタログ請求は 島津サイエンス株式会社

協力：小児肥満研究会 制作：株式会社島津製作所

TEL.03(5280)3174 FAX.03(5280)3186

「Dr. プランプ」専用ホームページ <http://www.dr-plump.info/>

エアーモニタ「換気予報」幹旋販売のご案内

(財)日本学校保健会では、このたび学校保健用品推薦商品エアーモニタ「換気予報」を幹旋販売することになりましたので、ご案内いたします。平成14年4月から学校環境衛生の基準改訂で、ホルムアルデヒドやVOCなどの化学物質の濃度測定が加えられました。これらの化学物質は教室内の建材や持ち込まれるものに含まれており、臭い・刺激臭・目の痛みなどの症状の原因物質となることがあります。

この対策は、なんといっても換気することが一番の方法といえます。また、風邪やインフルエンザの予防には、換気のほかに湿度管理が必要です。「換気予報」は、空気のごれをセンサーで感知し、換気のタイミングをフェイスマークなどで知らせますので、教材としても適しています。



幹旋販売価格

9,500円 (税別)

送料込 希望小売価格14,800円

エアーモニタ 換気予報の ④ 大特長

① 目に見えない空気のごれをセンサーがキャッチ。

② 換気のタイミングをフェイスマークとアラームでお知らせ。



笑顔 普通の顔 悲しい顔 換気マーク

③ モニターで空気の状態と変化が一目でわかります。

④ 温度・湿度もしっかりチェックできます。

●省エネに有効な温度管理 <季節ごとの快適な温度>	●風邪予防に有効な湿度管理 <季節ごとの快適な湿度>
春・秋 18~20℃	春・秋 50~70%
夏 24~26℃	夏・冬 45~60%
冬 16~18℃	

※「換気予報」は、個別の化学物質濃度の測定をするものではありません。

仕 様 ●電源 DC3V:付属ACアダプター(100V50/60Hz)を使用●消費電力 約1.4W ●電気代の目安 約20円/月 ●外形寸法 H161×W95×D47(単位:mm) ●質量 約197g

ご購入の お申込方法は

①学校名②住所③電話番号④申込者名⑤「換気予報」申込台数をご記入の上、下記あてにFAX送信または郵送してください。

財団法人 日本学校保健会 事務局

〒105-0001 東京都港区虎ノ門2-3-17 虎ノ門2丁目タワー6階

FAX. 03-3592-3898

お問い合わせは

商品やご注文に関するお問い合わせは、当会・事務局までお電話でどうぞ。 **TEL.03-3501-2000**

虎ノ門 (70)

ある高校での一風景

昼食時間に左手にパン、右手に炭酸飲料の缶を持ち、一口食べては一口飲みを繰り返していたのを見た。私の常識の範囲では少なくとも右手は牛乳であった。こういった光景に時々出会った。この生徒に聞いてみたら、何と朝食は食べていないとのこと。放課後は運動部の活動をしてから下校すると聞いて、さらに驚いてしまった。一日に必要な栄養を十分に取らず、こういった食生活をしていると、その日どうなるのか、また、将来どうなるのか心配でならない。

小・中学校は給食があるのでこの点は安心である。

鈴木雅子教授の調査によると、「食生活の内容が悪くなればなるほどイライラしたり、腹が立ったあり、すぐにカッとしたり、吐き気がしたり、根気が無く学校へ行くのが嫌だという子どもが増えている。」と報告されています。

こういう子どもたちは、野菜や海藻類、牛乳など取らずに、インスタント食品やスナック菓子、ジュース類を多く取っているのでしょう。バランスのとれた食事をするのが心を健康にすることだと提言しています。

高校生の食と健康に関して、まったくおそまつの一語に尽きます。ある高校の一風景がほんの一例であることを願う。(編集委員 林 眞示)

カワイ肝油ドロップ

発育期に欠かせないビタミンが凝縮されたカワイ肝油ドロップは、「わんぱく」を応援します。

カワイ肝油ドロップC (医薬品)

カワイ肝油ドロップM (医薬品)



製造 河合製薬株式会社

販売 河合薬業株式会社

東京都中野区中野6-3-5

TEL:03-3365-1156(代)

カラダに理想の イオンバランス ポカリスエット

商品に関するお問合せは—
大塚製薬株式会社 03-3292-0021
ホームページ <http://www.otsuka.co.jp/>



NEW

新発売の200mlペットボトル1ケース
抽選で10校様へ無料進呈します
学校名、住所、TEL、ご担当者名、担当職、
学校でのポカリスエットの活用方法を
ご記入の上、下記「健康と料理社」宛てに
ハガキでご応募ください。

※当選発表は発送をもって代えさせて
いただきます。

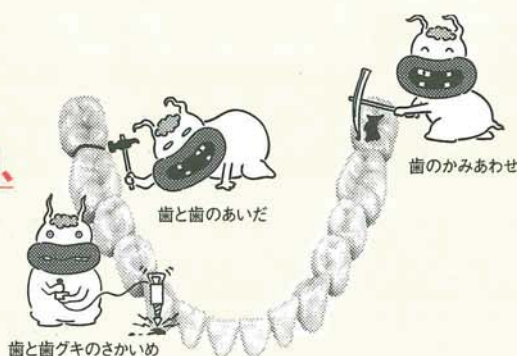
応募〆切：平成15年10月末日

(財)日本学校保健会推薦

応募に関する：健康と料理社 〒102-0075 東京都千代田区三番町24 4F TEL03-5275-6838／担当 河西
お問合せは

あしたに、あなたに
LION

**ハブラシの届きにくい所が、
ムシ歯になりやすい所。**



「先端丸形カット」の
**ライオン
こども
ハブラシ**



推薦：日本学校保健会

KAGOME

朝いい生活、
野菜生活。



新パッケージ！新テイスト！
毎日の野菜 **KAGOME 野菜生活100**



すっごく
おはよう

国内産
100%野菜
100%果汁
KAGOME